

最終報告書

2009. 7. 14

	月 日 ()	訪 問 都 市	時刻	交通機関	摘 要
1	7月2日 (木)	<p style="text-align: center;">関西空港 発 バンコク 着</p> <p style="text-align: center;">バンコク 発 コルカタ 着</p>	<p style="text-align: center;">11:30</p> <p style="text-align: center;">15:00</p> <p style="text-align: center;">23:45</p> <p style="text-align: center;">00:45</p>	<p style="text-align: center;">T G-623</p> <p style="text-align: center;">T G-313</p>	<p>午前9時45分、関西空港にて全員集合！ チェックインを済ませたところで、理事長の加藤様よりご挨拶を頂きました。</p> <p>定刻よりも早く、空路、タイ航空にてバンコクへ出発 さらに到着も早かったので、全員の自己紹介や仏心寺についてのお話を伺いました。その後、各自タイ式マッサージや免税店でのショッピングを楽しみながら空港内にて時間調整し、コルカタ行きへと乗り換えました。</p> <p>コルカタは雨が降っていて、ムツとした暑さ。冷房の効いた屋内から出るとメガネが曇ってしまう方もいらっしゃいました。コルカタの空港で、インドのガイド、シャシーランジャン氏の出迎えを受け、ホテルへと移動し休みました。</p> <p style="text-align: right;">誦・丰・誦 (コルカタ：ピアレスインホテル泊)</p>
2	7月3日 (金)	<p style="text-align: center;">コルカタ 発 ブダガヤ 着</p>	<p style="text-align: center;">16:45</p> <p style="text-align: center;">22:30</p>	特急列車	<p>宿泊したホテルの食事は美味しく、ドーサという香辛料で炒めたジャガイモなどをくるんだ南インドのクレープのような料理も頂きました。そして、待ってましたと言わんばかり沢山の美味しいマンゴーを頂きました。</p> <p>前々日から降り出した雨のおかげで、気温は下がり時折涼しくも感じる気候の中、まずヒンズー教の女神・カーリーを祀ったカーリー寺院参観です。ヒンズー教の聖地でもあるため、寺院の前にはインド人の大行列がありました。寺院の裏では毎日動物の生け贄を捧げる儀式が行われているそうです。次に、すぐ近くにあるマザーテレサの施設・終末の家を訪れ、続けてマザーテレサのお墓があるマザーの家とマザーの使ったものが展示された資料館を見学致しました。そして、インド最古の博物館と言われるインド博物館にて、特別に仏舎利を拝観させて頂きました。</p> <p>雨が降ると倍以上の渋滞をみせるコルカタの街。駅までの移動にも時間がかかると覚悟して早めに移動し始めたところ、雲間から太陽が見えてきました。おかげでスムーズにハウラー駅へと移動出来たので、時間を利用しガンジス河のほとりへと移動。コルカタの街のシンボルであるハウラー橋をバックに心地よい風に吹かれながら写真を撮る事が出来ました。ハウラー駅で1ルピーの体重計が壊れていて残念でしたが、始発列車である特急に乗り込み、次から次へと運ばれてくる車内食を頂きながらの列車の旅となりました。遅れるのが常のインドの列車ですが、ほぼ定刻通りにガヤ駅へ到着。重たいスーツケースをいくつも頭の上に載せて運ぶ駅のポーターさんに圧倒されながら、バスに乗り込み、ホテルへと移動しました。</p> <p>ホテルでは大浴場に浸かってゆっくりと疲れを癒し、明日の交流会へむけて休みました。</p> <p style="text-align: right;">戈・羿・畧 (ブダガヤ：スジャータホテル泊)</p>

	月 日 ()	訪 問 都 市	時刻	交通機関	摘 要
3	7月4日 (土)	ブダガヤ	終日	専用バス	<p>ブダガヤでも数日前に雨が降ったおかげで、それまでは45度くらいあった気温が30度台になったとのこと。日本と変わらない位の気候にも恵まれ、まず、お悟りをひらかれた聖地ブダガヤの大塔へ。金剛法座、菩提樹、アショカ王柱、ムチャリンド竜王の池を参拝し、ホテルへ戻って、歩いて仏心寺へと向かいました。</p> <p>本堂での法要はこどもたちも参加し、真剣にお焼香する姿が印象的でした。それから宿坊へ移動し、加藤理事長のご挨拶からこどもたちとの交流会が始まりました。まずは、参加者の上野様に折り紙を教えて頂きました。かぶとや紙飛行機など、子供たちは興味津々で一糸懸命に折って遊んでいました。それを教える参加者の皆様の表情もとてもキラキラして笑顔が溢れていました。それから、ゴム風船のプレゼント。風船をふくらませた事のないこどもたち。なかなか膨らまずほっぺたを風船のようにいっぱいにしながら頑張っていました。コツを教えるとすぐに色とりどりの風船が宿坊の中を行き交いました。こどもたちからもインドの歌を披露してもらい、昼食の時間には風が走る廊下に絨毯を引き、みんな揃ってカレーを頂きました。甘いダル(豆)カレーがとても美味しかったです。</p> <p>食後、理事長より鉛筆とノートのプレゼント。笑顔いっぱいのこどもたちに見送られて仏心寺を後にしました。</p> <p>日中の一番暑い時間は一度ホテルに戻って休憩。有志の方で、インドの洋服を作りバザールの仕立屋さんへ。数件まわって、風通しがよくとても着心地のよいクルタと呼ばれるスーツを作られました。みなさん本当にお似合いです。夕方、スジャータの村と尼連禅河を参観。おみやげ屋さんへ立ち寄ってホテルへ戻り、お風呂に入って夕食へ。この日はインドの美味しいお酒、サトウキビが原料のラム酒やヨーグルトテイストのインドの飲み物、マンゴーラッシーなどをいただきました。</p> <p>支・弁・晝 (ブダガヤ：スジャータホテル泊)</p>
4	7月5日 (日)	ブダガヤ 発 (ナーランダ) ラジギール 着	08:00 10:45 13:00	専用バス	<p>仏心寺にて集合写真を撮り、いざ王舎城ラジギールへ。途中、マガダ王国時代の南門、轍の跡を参観し、ラジギール郊外にある、玄奘三蔵も留学したナーランダ大学跡を見学しました。ホテルにて日本食の昼食を頂き、小休憩をとった後、</p> <p>夕刻、ラジギール参拝へと向かいました。加藤理事長のお話を聞きながら、竹林精舎、ビンビサーラ王の牢獄跡を参観。そして日の入りと共に霊鷲山に登り頂上の香室にて法要を致しました。夕日を浴びた霊鷲山はとても美しく、香室からの風景も生き生きとした緑とともに清々しいものでした。ホテルに戻りこの日もお風呂で疲れを癒して頂くはずでしたが、熱湯風呂となってしまう申し訳ございませんでした。</p> <p>支・弁・晝 (ラジギール：インド法華ホテル泊)</p>

	月 日 ()	訪 問 都 市	時刻	交通機関	摘 要
5	7月6日 (月)	ラジギール 発 クシナガラ 着	06:00 16:00	専用バス	今日は今回の行程の中で最も移動の長い一日。お釈迦様が涅槃に入られるため、最後に歩まれた道を辿って約11時間のバス移動となりました。途中、路上で売っているバナナを購入しおやつにしたり(一房10ルピー)、数回のトイレ休憩を経てクシナガラへ到着しました。夕方一度スコールのような激しい雨に遭いましたが15分位で止み、お涅槃の地へ向かう私達を清めて頂いたかの様でした。日の入りまでの時間があつたので、茶毘塚だけ参拝致しました。茶毘塚からホテルまで戻る道でみた夕焼けはとても綺麗でした。 支・弁・晝 (クシナガラ:ロイヤルグレンツェンホテル泊)
6	7月7日 (火)	クシナガラ 発 ルンビニ 着 バイラワ 発 カトマンズ 着	07:00 13:30 17:00 17:40	専用バス BHA856	朝、一番で涅槃堂へ参拝に行きました。人も少なく、静かに法要をさせていただくことが出来ました。最後の説法地のお参りをし、一度ホテルに戻ってから、ご生誕の地、ルンビニへと出発いたしました。いよいよインドを出国しネパールへ入国と国境に参りましたが、大渋滞!!車の入境手続きも厳しく、2時間もかかってしまいました。その後、ホテルで昼食をとり、駆け足でルンビニ園へ。その後の飛行機の時間もあり、じっくりと時間はとれませんでした。雨が止み、澄んだ青空と白い雲に映し出されたルンビニ園はご生誕の地にふさわしく、清々しい美しさを讃えていました。そして、リキシャーに乗って近くまで移動し、マヤ堂、アショカ王柱、沐浴の池を参拝しました。皆様のご協力もあって、無事に近郊のバイラワ空港へ到着。ここでガイドのシャシーランジャン氏とお別れをして、ネパールの首都・カトマンズへ。20人位乗りのプロペラ機にて約40分の空の旅。ヒマラヤ山脈も少し顔を出してくれました。そして、着いたカトマンズ空港では、なんと虹のお出迎え!雨が降ったり止んだり、不安定な天気だからこそみる事が出来た虹でした。一度ホテルへ入り、夕食はネパール舞踊をご覧頂きながら、ネパール料理をご堪能頂きました。イノシシや山羊などの料理を頂き、40度もあるネパールの地酒はきつかったけど美味しかったです。 支・弁・晝 (カトマンズ:アソフ財団泊)
7	7月8日 (水)	 カトマンズ 発 バンコク 着 バンコク 発	 13:50 18:25 23:59	 TG-320 TG-672	ここ数日のカトマンズの天候が非常に不安定なこともあり、午前中はマウンテンフライトを取りやめ、カトマンズ市内参観へとスケジュールを変更し、まずは目玉寺(ボダナート)を参観いたしました。曼荼羅を描く教室を見学、ショッピングを楽しみました。次に、パシュパティナートと呼ばれるガンジス河へとつながる河のほとりにあるヒンズー教の火葬場を参観。その後、前日にカトマンズ市街で事件があつた影響で大渋滞を起こしている市内をさけ、カトマンズの王宮を模した高級ホテルにて休憩を取りました。空港にてネパールのガイド、ビーベックシャキヤ氏とお別れし、空路、バンコクへ。着後、空港内にて時間調整をし、関西空港行きへ乗り継いで、空路、帰国の途へつきました。 支・弁・晝 (機中泊)
8	7月9日 (木)	関西空港 着	07:30		着後、入国審査、通関の後、空港にて解散致しました。本当にお疲れ様でした☆そして、有り難うございました。 支・晝・晝

※ 食事記号: 支=朝食、弁=昼食、晝=夕食、支=機内食、晝=食事なし。

※ 日本とインドの時差は-3時間30分、ネパールとの時差は-3時間15分です。

(日本の正午=インドの午前8時30分、ネパールの午前8時45分です)